

キリストは、私たちの過ぎ越しと贖いです

ホープ・チャペル所沢
ヘブル人への手紙 9:11-28

「そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられました。二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。」

(ヘブル人9:27-28、新改訳)

序文

モーセから受け継がれた信仰と実践は、日々の捧げものと、一年を通して行われるいくつかの祭りにみることができます。これらの捧げものと祝宴の目的は、神様の聖さ、そして神様ご自身との誓約関係の条件を神の民に示すためでした。彼らの一年は「過ぎ越し（エジプトから開放された記念日）」から始まり、また半年後には「贖いの日（レビ法で、唯一断食が義務づけられた日）」が設けられていました。この贖いの日には、無知によって罪を犯した全ての民の為、また神殿と祭壇、他の祭司たちと自分自身の為に、唯一大祭司が贖いの儀式を執り行ないました。（レビ記16:29-34）しかし、キリストにあって、「過ぎ越し」と「贖い」のすべての条件は永遠に満たされました。

1. キリストは、永遠に有効な贖いとなられるため、ご自身を捧げられました。（ヘブル9:11-14）

ア) キリストは人の手で造られた神殿ではなく、天の聖所に入り和解を成し遂げられました。

イ) 彼の血は赦しをもたらすだけでなく、神様に用いられる為に私たちの良心を清めます。

2. キリストは、より良い神様との契約の保証人です。（ヘブル9:15-22）

ア) 旧約と新約における神様との契約では、赦しの為に血が流される必要がありました。

イ) キリストは、私たちに新しい契約を与えるために、旧約の義務を果されました。

3. キリストは再び来られます。（ヘブル9:23-28）

ア) キリストはすべての人のために一度現れ、ご自分のいのちを捨てることによって罪の全代価を払ってくださいました。

イ) 人が一度死んで裁かれるように、キリストも一度死んで、救いを成し遂げるために再び来られます。

私たちの祈りと学び、話し合いと応用のために：

- 1) 「贖いの日」は今日の私たちに何を教えているのでしょうか。
- 2) イエス・キリストの犠牲は、旧約のいけにえより、どのように優れていますか。
- 3) ヘブル9:27-28の持つ意味は何ですか。それは、私たちの生き方にどのような影響を与えると考えますか。

結論

私たちの身代りとなって十字架につけられたキリストの罪の無い人生と血の犠牲によって、私たちは父なる神様との和解が与えられたということを信じるとき、イエス・キリストは私たちの過ぎ越しと贖いとなるのです。

032308hctj/easter